

## 京都市立芸術大学移転整備基本計画（案）に対する市民意見募集の結果について

### 1 市民意見募集の概要

- (1) 募集期間 平成29年2月1日（水）～3月5日（日）
- (2) 募集方法 概要版の配布（市役所，区役所・支所，図書館等）
- (3) 応募方法 郵送，FAX，電子メール又は送信フォーム

### 2 応募結果

応募者数 312名（意見数 431件）

（年齢別）

年齢	応募者数（名）	
20歳代未満	16	5%
20歳代	59	19%
30歳代	45	14%
40歳代	45	14%
50歳代	52	17%
60歳代	45	14%
70歳代以上	27	9%
不明	23	7%
合計	312	100%

（性別）

性別	応募者数（名）	
男性	142	46%
女性	137	44%
不明	33	11%
合計	312	100%

（居住地別）

居住地	応募者数（名）	
京都市在住	235	75%
京都市在勤	51	16%
不明	26	8%
合計	312	100%

### 3 御意見の内訳

項目	意見数（件）
1 全般について	41
2 移転整備とまちづくり	16
3 基本理念・施設整備方針	3
4 基本コンセプト	26
5 計画の位置づけと今後の進め方	6
6 京都芸大以外の施設	142
7 キャンパス整備における重点項目	16
8 整備内容	53
9 キャンパス配置の考え方	14
10 配置計画	34
11 安心・安全への配慮	12
12 環境への配慮	8
13 景観への配慮	5
14 事業手法	4
15 事業費	13
16 スケジュール	4
17 その他	34
合計	431

### 4 主な御意見（要旨）と御意見に対する本市の考え方

次項のとおり。

○ 御意見者数：312名， 御意見総数：431件

1 全般について（41件）

御意見の要旨	件数	御意見に対する本市の考え方
<p>京都駅から近い利便のよい場所で市立芸大・美術高校が活動できると、世界から著名な芸術家も招きやすく、生徒の育成に寄与できる可能性も広がると思う。また、京都の玄関口に芸術文化都市・京都を支える地域があることで、京都の文化力を京都を訪れる方々にもより知ってもらえる契機になる。</p>	30	<p>今回の移転整備により、京都芸大を京都駅東部エリアにおける「創造・交流・賑わい」の核とし、このエリアに「文化芸術都市・京都」の新たなシンボルゾーンを創生してまいります。</p>
<p>移転に大賛成、もっと周辺の規制緩和を含め大開発して欲しい。</p>		
<p>京都駅東部は、立地的にも恵まれているが、歴史的背景を考えても文化芸術が力を発揮できる場所である。芸術の力で、まちの雰囲気が変わっていくことに大いに期待している。</p>		
<p>今よりも市内中心部の方が、学生も色々な刺激を受けられて良いと思う。</p>		
<p>京都は海もないし、空港もない、世界とつながっているのは「京都駅」です。そんな玄関口で、芸術文化を発信できる拠点ができることは大変喜ばしいことです。</p>		
<p>現時点では、市立芸大の活動は多くの市民には何の関わりもありませんし、何の影響も与えていないと思う。 移転した後も、今と変わらずほとんどの市民に関係ない活動が続くのであれば、単なる場所の移転ですし、必要性を感じません。</p>	11	<p>京都芸大の京都駅東部エリアへの移転は、京都芸大の発展はもとより、周辺地域のまちづくりとも連携して京都全体の特色あるまちづくりを一層推進する契機となり、京都の都市格と魅力の向上に大きく貢献するものと考えております。 今後も様々な方々の御意見をお聞きするとともに、情報発信にも努めてまいります。</p>
<p>「現在の京都芸大の抱える課題」が全くと言っていい程書いてないので、なぜ移転する必要があるのか分からない。移転ありきのこじつけはいっぱい書いてありますが、現在の立地は気持ちの良い緑に囲まれ、芸術を学ぶには最高の環境かと思います。移転の必要はないと思う。</p>		
<p>西京区から250億円もかけて移転する必要があるのかはなはだ疑問である。40年前に150億円かけて沓掛に移転してきたのではなかったか。</p>		
<p>最近京都市はさかんに芸術文化による都市の活性化のようなことを言っているが、具体的にどのような状態になることを言っているのかよくわからない。そもそも、現代美術とクラシック音楽を学ぶ学生が1,000人という状況で、どれだけの活性化ができるのか疑問である。芸術は大切であるが、経済的な結果と結び付けようとしても、難しいのではないか。</p>		

2 移転整備とまちづくり（16件）

御意見の要旨	件数	御意見に対する本市の考え方
文化芸術都市京都の価値が高まるよう周辺の都市計画も併せて移転を進めてください。	8	京都駅西部エリアや東南部エリア、岡崎エリアなど、周辺地域を含めた京都市全体の特色あるまちづくりとも連携し、東部エリアが文化芸術創造の新たな火床となり、国内外の人が集まり交流する創造の一大拠点となるよう、魅力あるまちづくりに取り組んでまいります。
これまでの岡崎エリアの活性化を見ても、京都の各エリアごとに様々なコンセプトを設けたまちづくりを進めることは、とてもおもしろい取組であると思います。		
下京区は西部地域には梅小路公園周辺部は水族館や鉄道博物館などができ、大変賑やかになりましたが、なかなか回遊式にはなっていない。 もっと多くの方にそのまま東へ歩いてきていただくには、東のほうに東本願寺だけではなく若い人たちを引き付けるものが、と望んでおりました。		
京都駅前という非常に高いポテンシャルがある一方、昔の歴史のイメージによりあまり近寄りたがたい場所という考えが少なからず残っている。 学生のためのまちづくりなら、まず、キャンパス周辺にスーパー、飲食店等を始めとして、地域住民が日常的楽しめる施設を誘致し、学生と住民らが共生できる明るいまちづくりを目指してほしい。それによって、京都駅周辺全体の賑わいの嵩上げにつながると思う。	3	京都芸大が京都駅東部エリアにおける「創造・交流・賑わい」の核となるよう、周辺のまちづくりとも連動した取組を推進してまいります。
市内中心部に来たので、他の文化施設との連携を深めて欲しい。	3	アーティストの招聘、アーティストインレジデンスやワークショップ、レクチャーの開催など、様々な形で京都芸術センター等の他機関と連携してまいります。
公立大学として、他の芸術系大学や芸術関係施設のまとめ役を担うべきだ。		
キャンパスの移転先である崇仁地域との繋がりを重視するのはもちろん大切なことだが、京都市立芸術大学は京都市立の大学なので、崇仁地域だけでなく、京都市全体との繋がりをもっと重視してもらいたい。	2	周辺地域のまちづくりとも連携し、京都全体の特色あるまちづくりを一層推進するという観点のもと、移転整備事業を進めてまいります。

3 基本理念・施設整備方針（3件）

御意見の要旨	件数	御意見に対する本市の考え方
周辺地域も含めて、芸術家やアートに関心がある人々が集う場所になれば、京都にとって価値があるのではないのでしょうか。	3	京都芸術センターなど他機関と連携しながら、様々な形で発信を行うとともに、市民や国内外の芸術家など、様々な世代や異なる感性・関心・文化的背景を持つ人々の交流・創造の場となるよう取り組んでまいります。 また、今後、京都駅東部エリアを文化芸術創造の新たな「火床」としていくとともに、東南部エリアで創出される文化芸術の創造・発信機能、西部エリアの新事業・ソーシャルビジネス創出機能等と連携させることで、京都駅を中心とした「文化芸術都市・京都」の新たな文化ゾーンの創出に向けた取組を進めてまいります。
芸大と美術高校の移転は、新たなシンボルゾーンのコア施設だと思うが、それを中心として様々な芸術家やアーティストなど、クリエイティブな才能が集まりやすい環境を作ることが大切だ。 この移転自体はしっかりと進めていただきたいが、この移転が単なる大学と高校の移転にならないよう、少し広い視野でマネジメントが必要だと思う。		

4 基本コンセプト（26件）

御意見の要旨	件数	御意見に対する本市の考え方
大学が来ることで、北部と南部に地域が分断されないことが重要であり、ソフトとハードの両面から芸大移転予定地以外も視野に入れた計画策定を図ってください。特に、地域の課題解決（少子高齢化・地域活性化・防災など）の一助となるような連携を積極的に推進してください。	10	様々な世代や異なる感性・関心・文化的背景をもつ人々の交流・創造の場となるとともに、地域の様々なまちづくり活動への参画など、キャンパスから地域への働きかけについても取り組んでまいります。 また、周辺のまちづくりについても、関係機関と協議しながら検討してまいります。
「Terrace（テラス）」の機能について、大学機能とまちの機能の役割分担を整理し、計画に反映してください（可能であれば、地域のまちづくり連携拠点を芸大のキャンパス内に設置もしくは、周辺に協働拠点を設置）。		
地域資源（旧小学校や空地、空店舗、空家、その他施設をはじめ、地域の歴史や環境、人々など）を活かしたプレ事業やチャレンジ事業を積極的に推進し、地域との（信頼）関係構築を一緒に積み上げてください。		
京都駅東部エリアの食文化を地元と連携しながら、大学の食堂にも取り入れていって欲しい。	2	今後の基本設計において、様々な御意見をお聞きしながら、具体的な大学内の機能を検討するとともに、移転までの期間においても、地域資源を活かした創造活動に取り組んでまいります。

<p>地域の人や子供たちと交流してアートが単独に存在するものではなくて社会や地域と結びついて存在していることを実践して学んでもらう。これからの現代アートは「わけのわからぬ」ものと社会から疎外されたものではなくて地域や社会に溶け込んだものでなければならない。</p> <p>これまで、芸術大学は総合大学の枠外に置かれ、一般とは別の世界のものとして位置づけられてきたが、地域との共生、大学との共生が芸術大学のこれからの進むべき方向です。</p>	4	<p>芸術の研究・教育とその成果を様々な形で発信し、社会に還元するとともに、新しい住民としてキャンパスから地域に働きかけ、創造活動とまちづくりをつなげてまいります。</p>
<p>オルタナティブが重要と言うが、京都市立芸術大学が対案を示せるのか。</p>		
<p>これまで、開発がなかなか進まなかった地域が市芸の移転により、市民の関心が向けられるようになる可能性を大きく含んでいると思います。そのためには、単に大学としての機能だけでなく、市民に開かれた大学であることを期待します。</p>	6	<p>様々な分野との交流・協働を進め、先進的な研究・創造活動に取り組むとともに、その成果を様々な形で社会に還元してまいります。</p> <p>また、市民や国内外の芸術家などとの多文化的な交流を展開する場となるよう基本設計において、検討を進めてまいります。</p>
<p>国公立大学が、何学部であれ次世代エリートを育てるのは国家戦略としての使命なのかもしれませんが、京都市立芸術大学には、市民に開かれた大学になって欲しいです。(それに、運営の為のお金を払っているのは市民ですから。)そうすることによって、市民が大学生に優しい街であるという良き伝統も継続していくと思います。</p>	6	
<p>建物は外に開けばいいというものではないと思う。内部までひき込んでから、開くという方法もあるし、色々な可能性を残して、建築設計者と大学とがしっかり議論して、その活動と空間が一体になった計画をぜひ練り上げてください。</p>		
<p>基本コンセプトをどのように具体化するのか基本計画の中で示していただきたかった。そうでなければ、芸大が新キャンパスでどのような教育を展開するのかかわからず、市民として巨額の税金を投じる価値があるのかどうか判断できない。</p> <p>他大学から見れば都心の一等地にキャンパスを丸ごと移転させられるのは信じられないくらい羨ましい。公立だからできることであり、その重さをしっかりと受けとめて全国から多くの学生が集まる大学にして欲しい。</p>	6	<p>公立芸術大学としての役割は、移転に関わらず担うものであり、これまでも質の高い教育・研究を行い、その成果を社会に還元してきました。移転後は、他機関とも連携しやすい立地になることから、ジャンルを超えた交流・連携と、その成果を従来の枠にとられない様々な形で発信し、また、新しい住民として、まちづくりにも寄与するよう、地域との連携もさらに推進してまいります。</p> <p>今回の移転整備は、京都芸大の発展はもとより、周辺地域のまちづくりとも連携して京都全体の特色あるまちづくりを一層推進する契機となり、京都の都市格と魅力の向上に大きく貢献するものと考えております。</p>
<p>移転に関する大学としてのビジョンがない。地域・大学・芸術はわかるが教育・研究・産学連携、国際交流に対するビジョンがない。移転を機に新学部構想、充実する組織など見えない。そんなことで生き残れるのか。</p>		

#### 5 計画の位置づけと今後の進め方（6件）

御意見の要旨	件数	御意見に対する本市の考え方
<p>学生が4年間、快適に過ごせるようデザイン重視ではなく、実用性をしっかり考えられた施設を望みます。</p> <p>「まちづくりのための芸大」一辺倒ではなく、芸大が大学として学生が使いやすいものになるように、学生や大学側のことを大切に考えて計画して欲しいです。</p>	5	<p>今後、御意見を参考に、設計者と大学や地域などと対話を重ね、長く快適に使えるよう具体的な施設について検討してまいります。</p>
<p>建築家やはり世界で一番活躍していて有名な方がふさわしいと思います。素晴らしい建築家の建物であると、それだけで世界の人は集まってきます。”世界を集める建築家” 人気のある方にした方が良い。</p>	1	<p>今後、世界に飛躍する京都芸大の新キャンパスについて、創造的な提案を行っていただける設計者を公募型プロポーザルにより広く募集し、選定してまいります。</p>

6 京都芸大以外の施設（142件）

御意見の要旨	件数	御意見に対する本市の考え方
銅駝美工も移転することには賛成である。京都芸大に新たな魅力が加わると思う。京都の文化芸術の拠点となることを期待する。	8	京都芸大との連携により芸術的教育に貢献できる施設として銅駝高校を移転いたします。京都の伝統文化や芸術の世界への発信及びその発展を担う芸術家の育成に向け、京都芸大・銅駝高校が共に魅力的な教育活動が展開できるよう、今後、両校の連携策について検討を進めてまいります。
高校と大学が同じ敷地内にあることで、同じ夢を持つ高校生と大学生が切磋琢磨して、さらなる成長が期待でき、教員同士も交流することで高いレベルの指導が可能になると思う。カリキュラムの乗り入れの検討など、真の意味での高大連携をしてほしい。	4	
銅駝美工と京都芸大の連携は同じ敷地内にあった美術工芸学校、絵画専門学校であった歴史の中で歓迎すべき事である。	4	
銅駝美工も移転することは非常に良いと思う。京都芸大と連携を進めて魅力的な教育を展開してほしい。京都の文化芸術を担う人材を育ててほしい。	5	
銅駝美工との連携を進め、高大一貫の特色ある芸術教育を目玉のひとつにしてほしい。	2	
京都芸大の敷地に銅駝美工が移転することは良いことだと思うが、連携については、それぞれの個性を大切にしながら検討して欲しい。	2	
京都芸大と銅駝美工が同じ敷地内に合築され、一貫教育の場が実現することは喜ばしいことである。校名は京都市立芸術大学・京都市立美術工芸高校でいいのではないかな。	6	銅駝高校の校名については、同校の関係者の御意見もお聞きしながら、今後検討を進めてまいります。
銅駝美工移転を機に校名を「京都市立美術工芸高等学校」に変更してほしい。	3	
銅駝美工を京都芸大の附属校とする高大一貫教育には反対である。エスカレーター制度は問題のある制度と思う。銅駝美工の生徒が京都芸大に進学しやすい、京都芸大の教員の指導を受けられるというのは不公平である。	4	附属高校は公立大学法人の管轄下となり、市立高校全体を一体的に運営するうえで課題も多く、現時点では考えておりません。
銅駝美工は芸術大学附属美術工芸高校として大学に併設してほしい。	1	
銅駝美工の移転について、現状敷地よりかなり狭くなる場所に、なぜわざわざ移転するのか。今の教育環境が保証され、またそれ以上の教育環境が整うのか。高大連携は離れていてもできるのではないかな。	2	京都芸大と体育館や食堂などを共用することにより、生徒の学習・実習室の延床面積は、現在よりも増加できる見込みであり、京都芸大との施設の有効な共用方法等も検討して参ります。
銅駝美工の建物が大好きでそこで美術を学ぶ人がいなくなるのは反対である。	1	京都芸大との連携により芸術的教育に貢献できる施設として移転することとした銅駝高校については、施設の老朽化等の課題を抱えており、これらも移転により改善できると考えております。
芸大については西京区の不便なところがあるので、京都駅前に移転することは理解できるが、なぜ銅駝高校まで移転させることが急遽決まったのか。	1	
銅駝美工は美術系の高校であり、音楽学部も含む京都芸大と連携するのであれば音楽系高校の併設も検討すべきではないかな。	1	本市の音楽系高校である京都堀川音楽高校は平成22年度に新校舎を建設したところであり、京都芸大移転予定地へ移転する予定はありません。現在、同校では京都芸大の教員を講師に招くなどの連携をしており、今後もさらなる連携を検討して参ります。
学校統合では“地元主導”としているのに、移転時には歴史的経緯・地元問題との認識・地域の思いに配慮しないまま進めるのか。	1	今後とも、地域の皆様の御意見もお聞きしながら進めてまいります。
銅駝美工の移転は同窓会が要望したみたいだが、これらを担う若い世代の意見も聞くべきではないかな。	1	幅広い世代の皆様からの御意見をいただくため、今回の市民意見募集を実施しております。今後も様々な方の御意見をお聞きしながら進めてまいります。
銅駝美工を東九条に移転させることは難しいのか。	1	京都芸大との連携により芸術的教育に貢献できる施設として銅駝高校を京都芸大と同じ敷地に移転することとしております。
銅駝美工の跡地には記念碑を建ててほしい。	1	御意見を参考にさせていただきます。

<p>民営化に反対する。下京区に公立保育所がなくなることは区民が不安になる。 移管を撤回し、市営の下で責任をもった移転を行ってほしい。</p>	23	<p>本市では、「民間でできることは民間に」を基本として、様々な分野において民間活力の積極的な活用を推進することとしています。保育所についても、平成23年12月に京都市社会福祉審議会から提出された「市営保育所の今後のあり方について（最終意見）」を受けて策定した「市営保育所の今後のあり方に関する基本方針」（平成24年5月策定）及び「基本方針（改定版）」（平成26年10月策定）において、公民の役割分担を踏まえ、一部の市営保育所について民間への移管を行い、今後においても、地域の保育ニーズ、供給量を勘案し、市営保育所の将来的なあり方について不断の検証を行うこととしております。</p>
<p>民営化により下京区から公立保育所がなくなることは、「市営保育所の今後のあり方に関する基本方針（改定版）」に反する（各区に1箇所ずつ市営保育所を残すのではなかったのか。） 今までの民間移管とは別の議論で方針が出されており、納得できない。</p>	6	<p>崇仁保育所については、市営保育所が果たすべき役割や全市的な配置バランスを踏まえたうえで、移転整備に当たり、市内の社会福祉法人等の豊富な経験をいかしたより良い施設整備や、柔軟な運営による保育内容の充実やサービスの向上が期待できることから、民間による整備を行うこととしました。</p>
<p>行政区に1つは市営保育所を残すとともに、より多くの市営保育所の建設を進めるべきではないか。 崇仁保育所については市営保育所として耐震工事をしてはどうか。</p>	7	<p>また、民間事業者による整備の場合、国の整備交付金を活用することができますが、市営保育所として整備する場合、多額の市の財政負担が生じることとなります。民間事業者による整備を行うことによる本市の財政メリットをいかし、子育て支援の一層の充実に繋げたいと考えています。</p>
<p>市営保育所は今の京都市に必要ではないのか。公立保育所の役割を理解してほしい。</p>	2	<p>本市では、民間保育園等においても、産休明け保育、障害児保育、アレルギー対応、一時預かり等を実施しており、引き続き、公・民ともに多様な保育ニーズに対応していきます。また、市営保育所については、今後も、広域の地域の子育て支援拠点やセーフティネット等、公営保育所としての役割を果たしてまいります。</p>
<p>民間保育園になっても支援の必要な子どもの受入れをしてもらえるよう、市は責任を持って働きかけることを約束してほしい。</p>	7	<p>なお、崇仁保育所の民営化に当たっては、在籍する子どもへの影響がなるべく少なくなるよう、民間事業者への丁寧な引継ぎを行うとともに、保護者の方への説明に努めてまいります。</p>
<p>民営化は急な話で反響が大きいのではないか。今後話し合いを進めて、保護者が納得できる解決法はあるのか。</p>	1	<p>崇仁保育所の移転整備に当たっては、平成29年度に整備・運営法人を選定し、平成30年度から整備・運営法人への引継ぎを行うとともに、移転及び民営化に向け、保護者、整備・運営法人、京都市等で協議を行う予定です。</p>
<p>移転はやむを得ないが、同時に民営化することは子どもへの影響が大きい。民営化に際し、子どもが安心して過ごせるよう検討してほしい。</p>	4	<p>また、移転や環境の変化による子どもへの影響がなるべく少なくなるよう、保育を引き継ぐとともに、子どもや保護者と整備・運営法人の職員の信頼関係が早く築けるよう取り組んでまいります。</p> <p>さらに、移転、民営化後においても、子どもと保護者の不安を軽減するため、必要な期間、崇仁保育所の副所長とクラス担任保育士（各クラス1名）が民営化後の保育所で、クラス運営や子どもの精神面のケアなどのフォローを行ってまいります。</p>
<p>崇仁保育所が行ってきた地域における子育て支援の取組はどうするのか。子育て支援事業等、公営保育所としての役割はどうなるのか不安である。</p>	12	<p>下京区における家庭訪問事業や地域における子育て支援ネットワークの強化等の市営保育所が果たすべき役割については、市営保育所の配置や下京区の面積、就学前児童数に鑑みると、近隣の行政区の市営保育所が担っていくものと考えています。</p> <p>また、移転後の施設においても、地域の子育て支援施設として、子育て相談や園庭開放等の実施を整備・運営法人に求めてまいります。</p>
<p>現在の崇仁保育所は線路沿いにあり環境が良いとは言えない。建物も老朽化しており、移転して新しくなることは良いことだ。 移転して子ども達がのびのびと過ごせる環境を整備して欲しい。</p>	2	<p>移転場所については、下京区全体の保育ニーズや既存施設の配置との関係、園舎や園庭、送迎のための駐輪・駐車スペース等、十分な敷地面積の確保、崇仁保育所利用児童の中でも進学する児童が最も多い下京渉成小学校との密接な保小連携等の観点から、元六条院小学校の一部に移転・整備することとしました。</p>
<p>移転は保護者にとって送迎等影響が大きい。</p>	2	<p>子どもが過ごしやすい施設が整備されるよう、整備・運営法人の選定に当たり、施設整備計画について確認してまいります。</p>
<p>保護者等への説明が急すぎる。納得できるよう説明を求める。 市営保育所がよいと思って入所してきた保護者が安心して子どもを預けられるよう、引き続き説明会や話し合いを続けてほしい。</p>	28	<p>崇仁保育所の移転整備（案）については、「京都芸大移転整備基本計画（案）」において、芸大施設や既存施設のあり方を総合的に検討する中で一体的に検討してきたものであり、同計画と同時の公表となりました。</p> <p>公表後、保護者説明会を開催し、移転整備等について説明を行ってまいりましたが、今後とも、移転整備や民営化について、保護者の方への丁寧な説明に努めてまいります。</p>

7 キャンパス整備における重点項目（16件）

御意見の要旨	件数	御意見に対する本市の考え方
<p>移転を機に教育の内容も見直すべき。今、時代が求めているのはイノベーションだ。それを可能にするのは特定の分野にとどまるのではなく、様々な分野と交じり合うことが必要だ。移転すれば、そういった異分野との交流を推進してほしい。</p>	3	<p>芸術を核に、科学・福祉・医療・農業・産業技術など、ジャンルを超えた交流・協働をはじめとした芸術の可能性を広げていく活動にも取り組んでまいります。</p>
<p>芸術大学はアートの中のアートを追求するだけでなく、アート以外の様々な分野との連携を進めて欲しい。これからの社会において新しい価値を生み出したり、イノベーションを起こしたりするには、単一の分野を追求するのではなく、異なる様々な分野が交流することが必要不可欠になってくる。そのような様々な分野を結び付ける「ハブ」としての役割を担えるのはアートを他においてないと思う。</p>		
<p>芸大生だけでなく、様々な人が交流できる場所にするのが重要だと思います。</p>	8	<p>御意見を参考に、市民や国内外からの来訪者など、様々な人々の交流・憩いの場ともなるよう、キャンパス内の機能や活動について、検討してまいります。</p>
<p>『京都の新しい文化と社会のあり方を創造・発信していく「火床』を産むために、地域の歴史文化を踏まえ（学び）ながらも新しい息吹（出会い）を取り込んで、大学・地域だけでなく、多様な人々との交流の機会を創出し、学生だけでなく観光客も増やせるしくみを組み込んだ地域活性化（への寄与）を一緒に考えましょう。</p>		
<p>校内を横断できるような遊歩道であったり、休息のとれる小さな公園等、鴨川を走っておられるランナー達も休憩できるような施設など、開かれた場所も良いのではないかと思います。生徒たちの環境も考え、明るく住みよい場所も近隣に設けていく必要があると思います。</p>		
<p>市民への還元をしっかりと検討して欲しい。例えば、子供を対象にした在學生による美術教室の開催。在學生による各分野の美術教室を定期的で開催することで、次世代に美術の関心を持ってもらう機会が増えることが期待できます。また、「在學生による教室」ということで、在學生が子供たちと触れ合うことで新たな感性を磨く機会にもなると思います。</p>	3	御意見を参考にさせていただきます。
<p>公立なら日本の伝統音楽に力を入れるべき。研究成果を発信しないならセンターは要らない。</p>	1	御意見を参考に、国内随一の日本伝統音楽の研究拠点として、研究成果の発信機能の充実を図ってまいります。
<p>高齢者等の情報が得る手段が少ない方にも情報発信できる工夫や芸大によるイベント告知を広く周知できる工夫が必要です。また、芸術は分かりにくいところがあるので、伝える内容をもっとわかりやすくしてほしいと思います。</p>	1	御意見を参考に、教育研究成果の発信について、広く一般に周知する方法を工夫するとともに、創造活動とまちづくりをつなげるための地域への働きかけなども行ってまいります。

8 整備内容（53件）

御意見の要旨	件数	御意見に対する本市の考え方
<p>予定地を見ると現状敷地の約半分くらいですが、グラウンドはあるのでしょうか。文部科学省「高等学校施設整備指針」にある「校舎、屋外運動施設等を適切に配置し、有効に利用できるまとまりのある形状であることが望ましい」に合致しておりますでしょうか。</p>	17	<p>必要な機能・規模については、移転予定地の限られた敷地内で、グラウンドだけではなく、大学や高校の主たる機能である教育研究スペースを含めた全体として検討する必要があります。グラウンド面積については、教育研究スペースの諸条件と併せて、今後、総合的に検討してまいります。</p>
<p>グラウンドが狭すぎると思う。大学のグラウンドと思えない広さ。芸術系大学だからスポーツは必要ないといわんばかりの配置案。グラウンドの確保を望みます。</p>		
<p>基本計画案を見させていただきました。クラブや授業に必要なグラウンドは準備できるのでしょうか？クラブ活動は、独りで制作を続ける美大生にとって交流の場としても必要です。また、グラウンドは表現の場としても貴重です。学生生活の幅を狭めるような移転だけはしないように配慮してあげてください。</p>		
<p>グラウンドは都市型キャンパスなのだから、割り切って敷地内にそれほど大きなものは要らないのではと思います。</p>	2	

<p>大学の食堂や喫茶店を充実させて、そこに市民や観光客が気軽に立ち寄り、学生さんたちに交じって利用できるようにして欲しい。大学の中とか隣接地に「京都旨いもの街」とかがあって、そこで市民や観光客が京都のおいしいものを味わい、学生や教員と交流し、またそこが学生さんたちのアルバイトの場ともなればよいのではないかと。</p>	3	<p>御意見を参考に、憩いと交流の場ともなるスペースについて、検討してまいります。</p>
<p>学生も市民も利用できる芸大らしいカフェ（食堂）が欲しい。芸大生の絵を飾ったり、音楽の学生の演奏聞けたりすると、学生の練習の成果を発表できる場になり良いと思う。</p>		
<p>高瀬川の景観を活かした遊歩道整備や地域活動との連携を産む配置計画を。</p>	6	<p>御意見を参考に、関係機関とも協議し、魅力ある水辺空間となるよう検討してまいります。</p>
<p>鴨川のところは、石積みのところと一緒に建物をつくり、水辺に近づけると良いと思います。</p>		
<p>京都は芸術の街なので、多くの人が気軽にパフォーマンスできる場所が多くあれば良いと思います。 100人～200人程度の小ホールかサロンのような場所を増やしていただくと利用しやすいと思います。市民が企画したり、パフォーマンスをしたり、人をよんだりするのに良い規模のものがあつたらいいなと思います。</p>	6	<p>芸大の教育・研究成果の発信機能について、御意見を参考に、今後の基本設計において、検討してまいります。</p>
<p>様々な人が様々なことに利用できる100～200名収容の小ホールがあれば良いと思います。現役の学生以外に卒業生や外部の人間も気楽に使い、小ホールならではの実験的な試みもできるような。（洋楽と邦楽のコラボや他ジャンルの芸能とのコラボ、ワンコインコンサート等々）観客も地の利を生かして観光客なども取り込めたら楽しいと思います。</p>		
<p>冷暖房を自分達で自由に利用できない部屋がある。本部で管理しているので、依頼してから1時間ぐらいかかるし、学生だけで使用する場合は付けてもらえない。寒すぎると楽器に悪いので自由に利用できるようにしていただきたい。</p>	2	<p>今後、各諸室の条件等について、御意見を参考に検討させていただきます。</p>
<p>レッスン室をもっとたくさん増やして欲しい。個人練習するためのレッスン室はいつも取り合いになっている。</p>	1	<p>御意見を参考に、学生の自主練習のためのスペースの充実を図ってまいります。</p>
<p>レッスン室の予約がWEB上でできると便利だと思います。現在は夕方にレッスン室を利用したくても、朝にきてレッスン室予約表に記入しなければ予約ができず、遠方からきているため、授業がないときはわざわざ予約のために学校に行くのが不便です。</p>	3	<p>御意見を参考にさせていただきます。</p>
<p>世界に誇れる芸術の都”京都”。さらに世界へより良き芸術の発信のためにも、芸術大学の存在は重要であると思います。そして芸術家を育てる環境作りも考えてゆく必要があります。音楽学生のための防音設備のある下宿（マンション）が必要。</p>	3	<p>御意見を参考にさせていただきます。</p>
<p>移転により京都市民だけではなく、外国からの観光客が芸大生の作品を見たり、演奏を聞いたりする機会が増えると思います。発表のための設備もぜひしっかり準備してください。</p>	1	<p>芸大の教育・研究成果の発信機能について、御意見を参考に検討してまいります。</p>
<p>大学の運動施設を充実させるべきだと考えます。多くの大学ではスポーツジムに引け劣らない運動施設（ルームランナーや筋トレマシンを大規模に充実したもの）が整備されています。移転を機に、整備されてはいかがでしょうか。</p>	2	<p>今後、教育研究スペースの諸条件と併せて、総合的に検討してまいります。</p>
<p>地下道などで、大学のすべてのエリアに雨に濡れずにいけるようになればいいと思う。楽器を運ぶ時に濡れる心配をしなければならないため。また、美術学部の人も作品を運ぶ時に屋根が必要だと思う。</p>	1	<p>今後、基本設計において、キャンパス内の動線等について、御意見を参考に検討してまいります。</p>



<p>全てLED化すべき。 Wi-Fiを完備して欲しい。 夜間でも明るいよう外灯を多く設置して欲しい。</p>	6	御意見を参考にさせていただきます。
<p>楽器を運ぶことも多いので、大きな楽器が入る大きなエレベーターと人を乗せる用のエレベーターを設置していただきたい。</p>		

9 キャンパス配置の考え方（14件）

御意見の要旨	件数	御意見に対する本市の考え方
<p>建物が低く小さすぎる、公共の建物を市が主導で最高の立地に造るのであるから、大学だけではなく総合的な利用を考えて高さ規制を例外的に50mほどまで緩和し、容量のある大きな建物を作るべき。 そうすれば保育所などの移転もする必要はなく下京区役所なども中に作れるのではないだろうか。</p>	3	鴨川・高瀬川の岸边景観、東山の眺望などの地域の景観特性や、周辺の住環境への影響などを考慮し、現行の規制の範囲で、今後の基本設計において、施設の有機的な配置や効率的な空間の利用について検討してまいります。
<p>超一等地なので容積率を増やし高校・大学・文化施設だけではなくもっと色々な施設を入れたらどうだろうか、そうすると集客されにぎわいが生まれるし、地域自体も発展する。</p>		
<p>建築のイメージは様々な専攻がひしめき合っワイワイやっっている高密度な街のようなキャンパスが楽しいのではないか。</p>	1	御意見を参考に、今後の基本設計において、各施設の配置等を検討してまいります。
<p>今回非常に便利な場所に行くことになるが、だからといって、高層ビルが並んでしまっはいけないと思う。 教育環境としては広々とした空間も大切であるし、そういう場所が都心にできることは、住民にとっても有意義である。その点には十分配慮してもらいたい。</p>	1	都市型キャンパスではありますが、御意見を参考に、今後の基本設計において、各施設の配置等を検討してまいります。
<p>京都駅の近くに移転するのは良いことですが、敷地いっぱい建物を建てるのではなく、今のように敷地内に植物や樹木がたくさんある緑豊かな大学を望みます。</p>	2	都市型キャンパスではありますが、効果的に緑化を図り、緑に触れ、憩えるスペースの充実を図ってまいります。
<p>京都駅から三十三間堂や国立博物館などへ行く場合には、バスを利用される方が多く大変混雑しています。 京都市立芸術大学の場所が、それらの観光地へ徒歩で向かう場合の中間地点として気軽にひと休みできる場所になったり、芸大自体が観光地として注目を集める場所になれば、観光に係る混雑の緩和、分散に繋がると思い期待しています。</p>	4	御意見を参考に、今後の基本設計において、京都駅と東山を結ぶ交流や賑わいを創出する機能や施設配置を検討してまいります。
<p>芸大志望ですが、大学の周辺が住民だけでなく、学生にとっても快適な空間にしてほしいです。京都駅から大学まで、にぎわいが途切れないようにしてほしいです。</p>		
<p>敷地が3つに分かれているので、道路を渡る橋があると行き来が容易になると思います。</p>	3	今後、御意見を参考に、関係機関とも協議をしながら、各地区間の動線等について検討してまいります。
<p>京都駅からキャンパスまでの道路は歩道が狭いので、同じ時間帯にたくさんの人が行き来するためには何か別のルートが必要ではないか。 また、道路で分断されているキャンパスには連絡橋のようなものが必要ではないか？</p>		

10 配置計画（34件）

御意見の要旨	件数	御意見に対する本市の考え方
<p>配置が一番自然な1が良いと思った。 2のC地区に美術館と音楽を配置するのは、外部の人には良いかもしれないけど音楽がせまい気がするのと、美術館の資料館のそばに何専攻が来るのかよく考える必要がありそうだと思う。美術の専攻が離れるのは専攻外との交流が芸祭などで多いのでさみしい気がする。</p> <p>配置案を見たが、音楽と美術が分かれずに双方が隣り合って様々な創作活動が新しく生まれることを期待します。</p> <p>分野を横断できることが、この大学の魅力だと思いますので、美術学部の各専攻が一体的に配置されることは良い効果があると思う。ただ、音楽学部との交流は今でさえあまりないので遮断されてしまうと全く交流がなくなる恐れがある。</p> <p>その点、美術学部内は総合基礎等で個人的なつながりを築けるので、配置においては、音一美が近しくある方が嬉しいです。音楽を楽しむ人々は、こちらから見てとても刺激的です。授業中に歌声が聞こえてくるのも、私がこの大学の好きな点であります。2案に一票。</p>	13	<p>今後の基本設計において、設計者による創造的な提案を受けながら、御意見を参考に、大学、地域など様々な方との対話を重ね、さらにふさわしい配置を検討してまいります。</p>
<p>1案が良いと思いますが、2案の美術と音楽と一緒に交流を深められやすそうなのも良いと思うので、授業のカリキュラムも含めて考えられると良いかと思いません。</p>		
<p>銅駝高校の場所をはじめからC地区に決めておく理由がわからない。AでもBでも連携は出来るはず。計画案にあるように設計者の創造的な提案に任せるべき。</p>		
<p>京都芸大と銅駝美工の連携で京都の芸術が発展すればよいと思います。ただ連携の仕方は色々あるので、銅駝美工が必ずしもC地区にある必要はないと思う。それほど広い敷地でもないのにA地区にあっても連携はできると思う。銅駝美工も含めて全体で配置を考えるべきだと思う。</p>	16	<p>御意見を踏まえ、今後の基本設計において、京都芸大と銅駝高校との連携や施設の共有化の検討を進めるうえで、高校の配置についても検討することとします。</p>
<p>建築設計にあたっては、伝統ある銅駝美術工芸高校の施設設備を現状より拡充し、別棟で建設されるべきである。</p>		
<p>音楽学部の生徒は聴取の前で演奏する事で得られる物が多いので発表の場である講堂は、京都駅から近い所に有った方が良いと思います。また優秀な現役演奏家の教授、講師もどんどん講堂を使って、演奏会を開催したら良いと思います。</p>	3	<p>御意見を参考に、今後の基本設計において、施設配置について検討してまいります。</p>
<p>コンサート会場、劇場、美術館など大多数の観光客が訪れる施設はできるだけ密接にした方が、移動しやすい。</p>		
<p>配置計画において、オープンスペース（将来活用地）とあるが、これは芸術大学としての将来活用地なのか、芸術大学以外としての将来活用地か。</p>	2	<p>移転予定地の将来性を踏まえ、一定のオープンスペース（将来活用地）を設定しています。今後、暫定利用も含めて活用方法を検討してまいります。</p>

11 安心・安全への配慮（12件）

御意見の要旨	件数	御意見に対する本市の考え方
<p>開かれた大学というが、個人情報のセキュリティや学生の安全はどのように守るのか。</p>		
<p>人が多いところはセキュリティ面が心配です。 若い方たちが安心して大学生活をおくることができるよう最大限の配慮をお願いします。</p>	4	<p>諸室の性質等によりセキュリティのレベルを設定するなどのセキュリティ対策について、御意見を参考に、今後の基本設計において検討してまいります。</p>

地域5学区で防災対応について、近域においては避難所等の場所で小さく収容人数に不安がある。	5	元崇仁小学校と同等の機能を確保するとともに、帰宅困難者の一時避難や災害備蓄にも対応できるよう検討してまいります。
敷地のすぐ南側にJR線や新幹線が走っていますが、音や振動の影響が不安です。 音楽をやっているものにとっては、静かな環境が必須です。防音対策をしっかりとしないと何のために移転したのかわからなくなります。対策をお願いします。	2	音楽学部練習室や合奏室など、適切な防音対策を講じてまいります。
バリアフリーに配慮したキャンパスとして欲しい。	1	バリアフリー・ユニバーサルデザインに配慮し、誰もが利用しやすい施設としてまいります。

## 1.2 環境への配慮（8件）

御意見の要旨	件数	御意見に対する本市の考え方
費用に制限があるかもしれませんが、将来をよく考えて建築することです。例えば内部は集合材、外部は鉄骨コンクリートなどにすれば建物の長寿命化が期待できます。	3	高強度コンクリートを採用するなど躯体の長寿命化について、御意見を参考に、今後の基本設計において検討してまいります。
日本には、人間に優しく、耐震構造にも優れ、しかも最も美しい構造を持つ、国際社会にも高い評価をされている伝統的な木造建築の技術があります。 芸術的視野を生かした、近代科学と伝統文化を融合させるような世界に発信できる新たな木造の建築物を検討してはどうかと思います。	2	環境への配慮に加え、京都のまちや人々に息づく「木の文化」を大切にする視点から、みやこ柚木の積極的な活用について、御意見を参考に検討してまいります。
京都議定書誕生の地の大学として、ぜひとも再生可能エネルギーを積極的に導入し、環境にやさしい大学にしたいです。	2	太陽光発電や地中熱利用、雨水・井水利用など、自然エネルギーの利活用を図るとともに、気温や風向など、地域の環境特性を踏まえた環境にやさしいキャンパスを目指します。
「施設間でのエネルギー融通などによる効率的なエネルギーマネジメントシステムを検討します」というのが非常に興味深い。A地区、B地区、C地区と分かれてはいるが、電気や熱を融通することによって、省エネ・省CO2にもなり、また先進的な取り組みとして学生にも市民にも共感いただけるのではないかと。	1	御意見を参考に、今後の基本設計において、効率的なエネルギーマネジメントシステムを検討してまいります。

## 1.3 景観への配慮（5件）

御意見の要旨	件数	御意見に対する本市の考え方
京都駅前という京都の玄関口にふさわしい、世界に誇れるような外観にしてください。 奇抜な外観でも芸術大学らしくれば納得してもらえらると思います。50年前に建設された京都タワーも、最初は色々な意見があったと聞いていますが、今では、京都にふさわしくだれも異論を唱えません。100年先にも名建築といわれるような建物にしてください。	5	地域のまちなみ景観形成への寄与や都市デザインの観点から総合的に検討し、京都における新たな景観の創造に向けて整備を行ってまいります。
京都駅に新幹線などで着く時に、鴨川から見える最初の風景である。ぜひデザインにも配慮した最高のキャンパスを作って欲しい。		JR沿線から見たデザインにも配慮し、ランドマークともなるよう検討してまいります。
地域資源を意識し、近・中・遠景に配慮したデザインを取り込んだシンボリックな学舎にしてください。		地域のまちなみ景観形成への寄与や都市デザインの観点から総合的に検討してまいります。

## 1.4 事業手法（4件）

御意見の要旨	件数	御意見に対する本市の考え方
大学がホテルを経営してはどうか。海外の大学では大学の建物の上部がホテルになっている例があった。その建物は大学の事務局、学生寮、教員宿舎、そしてホテルが同じ棟に同居していた。海外からの短期の研究者やゲスト教員がそのホテルに泊まって仕事をしていた。立地を考えると十分採算が取れるのではないかと。運営は外部業者に委託すればよい。	3	公立大学法人が収益事業を行うことは困難ですが、学校施設として必要な機能の検討を行ってまいります。
大学の経営を助ける収益施設（一般向けのカルチャースクール、沿道部の店舗テナント等）は予定されていないのでしょうか。		

施設整備に当たっては、PFIなど少しでも税金のかからない手法の検討をお願いします。	1	本事業の特殊性、昨今の建設市場の動向などを踏まえ、分離発注手法が最適な事業手法と考えております。
---	---	--

15 事業費（13件）

御意見の要旨	件数	御意見に対する本市の考え方
事業費が250億というのは非常に高額であり、それだけの価値が芸大にあるということを、今後設計などを情報公開することにより、市民にわかりやすく示して欲しい。移転後の跡地については、西京区や京都市の発展に資するようなものというのをはわかるが、少しでも事業費を補填するために売却すべき。	7	<p>京都芸大は、明治維新により危機を迎えた京都の美術工芸界を立て直すため、「まちづくりは人づくりから」の信念の下、先人たちの熱意によって設立された日本初の画学校を起源としており、以来、市民の皆様に支えられながら、各時代を先導する優れた芸術家を多数輩出し、京都の文化芸術の発展を支えてきました。</p> <p>京都芸大の京都駅東部エリアへの移転整備は、京都芸大の更なる発展はもとより、周辺地域のまちづくりとも連携して京都全体の特色あるまちづくりを一層推進する契機ともなります。ひいては、京都の都市格と魅力の向上に大きく貢献するものと考えております。</p> <p>今後、基本設計において、大学や地域をはじめ、市民の皆様のお意見をお聞きするとともに、合わせて情報発信にも努めてまいります。</p>
少人数教育というが1000人に250億かけるのか。1年で5億の収入しかないのに50年かかる。費用対策効果の説明を。 京都には美術工芸大学も入れれば5つの芸術系私学があるが、学費も高く、不便な場所にある。 卒業生は留学や東京で働くなら、教育研究の成果は京都には還元されないのではないのか。250億円もかける必要性を説明して欲しい。		
芸術大学の移転に必要な金額が250億円とありますが、これは全て私たちの税金でしょうか。そこまでお金をかけて移転させる必要があるのか疑問です。そのお金を保育園や福祉などに使うほうが市民のためになるのでしょうか。		
大学の授業料を上げたりはしないのですか？ 受益者である学生も一定負担するのが筋かと思えます。	2	御意見を参考にさせていただきます。
建物の老朽化対策は普通の大学なら立て替え。 移転するなら少なくとも半分は寄付を集めてからにして欲しい。	2	京都芸大と連携しながら民間からの寄付を募り、可能な限り市債発行額の抑制に努めます。
移転整備で充実した制作環境が実現することを望みます。250億円が多いとは思わない。無駄な予算を減らして少しでも整備に回すべき。その方が京都市にとっての将来投資として有効だ。	2	世界に冠たる芸術大学として、創造的な芸術を生み出す、高度で多様な研究・教育環境を整えてまいります。

16 スケジュール（4件）

御意見の要旨	件数	御意見に対する本市の考え方
構想ではA地区に先行移転するとされていたが、今回の計画ではまったく触れられていない。いったいどうなったのか。取りやめになったのか。止めたのならその経過を書くべきではないか。	1	崇仁地域のまちづくりを推進するとともに移転の機運を高めるため、一部施設を先行移転することとしておりましたが、本市の財政状況等を踏まえ、全体的なスケジュールを見直し、供用開始時期は変更せずにキャンパスを一括移転することとしました。今後も適切なスケジュール管理に努めます。
設計、建築、キャンパスの移転と大変な作業が続くと思えます。途中でとん挫することがないようにお願いします。	2	財政状況等を踏まえ、適切にスケジュール管理を行いながら、着実に整備事業を進めてまいります。
完成年度のようなものを作っていますが、これが仮に都市の設計の中核であれば、そんなものは不要です。100年かけて完成する位の心意気で事業を進めて欲しいです。	1	移転整備事業は、適切にスケジュール管理を行いながら進めてまいります。なお、大学の教育・研究内容等の変化に対応できるフレキシブルな施設となるよう基本設計において検討してまいります。

17 その他（34件）

御意見の要旨	件数	御意見に対する本市の考え方
<p>京都市芸大は道州制をにらんで関西一圈（鳥取、徳島を含む）のための芸大にして欲しい。（準国立）</p> <p>市立芸大の卒業後のサポートを考えると、京都芸術センターやHAPSと連携して、芸術家となるための長期的な支援を考えた方が良い。</p> <p>京都市立芸術大学の移転先の近隣には、東本願寺をはじめとする社寺仏閣や歴史建造物は数多くあり、そのような意味からも、大学の主要な科目である芸術及び音楽に加えて、寺院が培ってきた歴史、宗教など文化的な方面についても、積極的な連携をもった取り組みが考えられると思います。そのような取り組みの中で、若者の教育が行われることを願います。</p> <p>また、その中で、社会問題の一つに挙げられる老人介護など、終の居場所を作っていく取り組みにも眼を向けていくことで、地域社会の根ざした市民に愛される大学となりえるのではないかと思います。</p> <p>教育内容（カリキュラム）が芸術活動に迎合しすぎていることです。人間文化を育成するためにも、教育・研究者を増員し他大学とも連携するカリキュラムの工夫などが必要と考えます。</p> <p>また、市民にも芸術文化を提供できる市民教育のカリキュラムを持つ開かれた大学をめざすことが文化都市京都にある芸大の重要かつ基本的な課題であると考えています。</p> <p>学生と先生の距離の近さが芸大のいいところなので、それを守ってほしい。便利な場所だからといって安易に定員数を増やさないでください。</p>	<p>12</p>	<p>京都芸大は長い歴史の中で大きな成果をあげてまいりました。今回の移転を機に、市内中心部から様々な機関等との一層の連携を深めていくことを目指しています。</p> <p>御指摘の点などを踏まえながら、これまでの良き伝統を守りつつ、新たな環境の中で教育・研究の水準を高めることで、更なる発展を目指してまいります。</p>
<p>洛西ニュータウンは、当初の地下鉄計画が頓挫し交通の導線が不十分のままで高齢化を迎え、西部の都市づくりとして京都の活性化において大きな課題になっていると思います。したがって、洛西の校地についても、京の西地区の文化を活性化するような跡地利用を考えられないものかと思慮しています。向日市や長岡京市との関係においても、また北部地域と結ぶ拠点としても洛西の校地は文化交流の活用が期待できます。</p> <p>芸大が移転すると、ますます洛西地区の人口が減少し街が寂れる。移転後の敷地は、集客施設でなく洛西地区の定住人口の増加につながる施設を作りたい。</p> <p>京都芸大が現在地に移転して45年になるかと思いますが、これまで度々移転を余儀なくされ、ようやくしてまとまった敷地と環境が整い、芸術大学としての体裁ができてきたと理解しています。</p> <p>建物が一定の年数が経ち、新しい在り方を目指すのはよしとしても、移転に伴い敷地が狭くなるのはどうでしょうか。建て延べ面積だけが活動場所ではなく、広い敷地あつての創作や作品スペース、学内活動であつたと思います。駅ちかのキャンパスとの機能を使い分けて西京区のキャンパスも大学で活用されることを望みます。</p>	<p>10</p>	<p>専門分野の教育・研究の水準を高めるとともに、領域を横断した制作など新たな試みを展開するため、キャンパス全体を移転整備することとします。芸大移転後の跡地活用につきましては、今年度取りまとめられた「西京区・洛西地域の新たな活性化ビジョン」を踏まえ、西京区はもとより、市全体の発展に資するよう検討してまいります。</p>
<p>スイスのチューリッヒ大学の場合、地下が博物館と研究展示になっています。剥製の数は世界一ではないかと思いました。新しいキャンパスではそういった検討はなされているのでしょうか。</p> <p>文化庁が京都に来るといっても、京都市考古資料館・京都市歴史資料館は老朽化し、資料は山積しているにもかかわらず、公開は限られていいます。千年都市京都の哲学は歴史都市であることを融合的に語れなければ継承できません。庶民目線の京都市歴史文化博物館も当該地区にしっかり作ってください。</p> <p>滋賀県では県立近代美術館の改修に伴って、ボーダレスアートを収集・展示するスペースを設けると聞いていますし、亀岡には「みずのき美術館」があります。文化都市を標榜する京都にそのような施設がないのは不自然にさえ感じています。</p>	<p>6</p>	<p>京都芸大との連携により芸術的教育に貢献できる施設として銅駝高校を同敷地に移転整備することとしました。御意見につきましては、今後、京都芸大が有する芸術資源や教育・研究成果の発信の活動の参考にさせていただきます。</p>

<p>娘が京都芸大に通っているが、教員が自分の制作や研究ばかりしていて学生のめんどろみないという。生徒自身は作品を作るだけで満足しているようだが、卒業後の生き方まで放任されているようだ。教員を養うために学生がいるのではない。</p>	2	<p>学生がいきいきと学び、充実した学生生活を過ごし、自らの道を見出していけるよう、大学として取り組んでまいります。</p>
<p>将来の学生にもものすごい金額の税金が使われますが、今、学んでいる学生の環境整備も忘れないでほしい。恵まれているとはまったく言えない状況です。</p>	2	<p>移転までの間においても、学生等の教育・研究環境を保障するために、必要な修繕等には適切に対応してまいります。</p>
<p>計画をみると大学の間にあるスペース（B地区の前）は共同住宅になるそうですが、一階を店舗スペースにするなどしたらどうでしょうか、そちらのほうがただ市営住宅にするよりいいと思います。</p>	1	<p>共同住宅の1階部分には店舗を配置する計画としております。</p>
<p>京都駅周辺だと賃貸住宅の家賃が高く学生が住みにくいと思うので、周辺の市営住宅に学生が優先して住めるようにしてほしい。</p>	1	<p>市営住宅は、住宅に困窮する低額所得者に対して低廉な家賃で住宅を供給することを目的に整備されたものです。そのため入居条件において、所得制限等の条件が設けられるとともに、対象者を親族と同居される世帯を原則とし、単身者の場合でも60歳以上の方や障害者の方等を対象とするなどの法的な制約があります。</p> <p>市営住宅への優先入居については、本来の入居を阻害しないなど条件が必要となりますが、「大学のまち・学生のまち」として学生が学ぶ環境の整備や地域コミュニティ活性化の観点から、今後検討してまいります。</p>